

「かわたび×うまたびプロジェクト」進捗報告

2023年3月2日（木）
道東ホースタウンプロジェクト総合プランナー
ホースタウンリンク代表
岡本 昌



① 「道東ホースタウンプロジェクト」

2017年～現在

道東地域において「馬事振興」による「地域振興」を目的としたプロジェクト。
まずは、標茶町の掲げる『馬と共に暮らせる町...標茶』の具現化を行う。

主な活動内容は、

- 乗用馬の生産と育成の推進
- ホーストレッキング、ホースイベント等による馬事愛好家を中心とした観光客の誘致
- 引退馬預託事業の開発、発展 ※引退乗用馬の「終の棲家」づくり

ご参考)

標茶町馬事関連事業の 拠点Map

- ・ 釧路川、JR釧網線、国道391号線が標茶町の大動脈として南北に重なって走っている。
- ・ その大動脈の周辺に、馬事事業者、馬事関連施設（赤点）が点在し、合わせて、ホーストレッキングコース（青線囲み）が展開している。



② 「かわたび×うまたびプロジェクト」

2021年～現在

地域の宝である釧路川、釧路湿原を核に、釧路地域全体として観光客を集客、誘致することで、釧路地方全体の地域振興を加速させる。

⇒結果として、標茶町の地域振興に繋げる。



釧路川を観光資源とする観光プログラム開発



“釧路川を移動すること自体”が観光（イベント）となる
新しい旅を提案するための実証実験をスタート

- 地域の財産である「釧路川」「釧路湿原」の魅力を最大限に活用
- 「広域」且つ「長期滞在型・反復（リピート）型」による高付加価値化
- 「乗馬・ホーストレッキング」を組み込むことで差別化



- 釧路川の治水・利水の取り組み自体を学ぶことで更に魅力拡大

当プロジェクト
を実施する中
での気づき

⇒エコツーリズム、ワイズユースの考え方にもつながる価値づくり

3. 「かわたび×うまたびプロジェクト」の概要

① 開発する観光プログラム

「かわたび×うまたび 釧路川観光ツアー（仮称）」

釧路川流域全体（+釧路湿原）の自然環境と移動アクティビティを楽しむとともに、これまでの・これからの河川と人との関わりのある様子を「知り」「学び」「理解する」という『エコツーリズム』の考え方に則った観光ツアー

参考) 釧路川、釧路湿原の現状認識

河川と人との関わりは以下のようなステップを踏んでおり、釧路川治水100年の現在、釧路開発建設部様におかれても「対話」のステップに本格的に取り組みされていると認識

「利用」：生活の為に河川を利用する 取水、交通手段

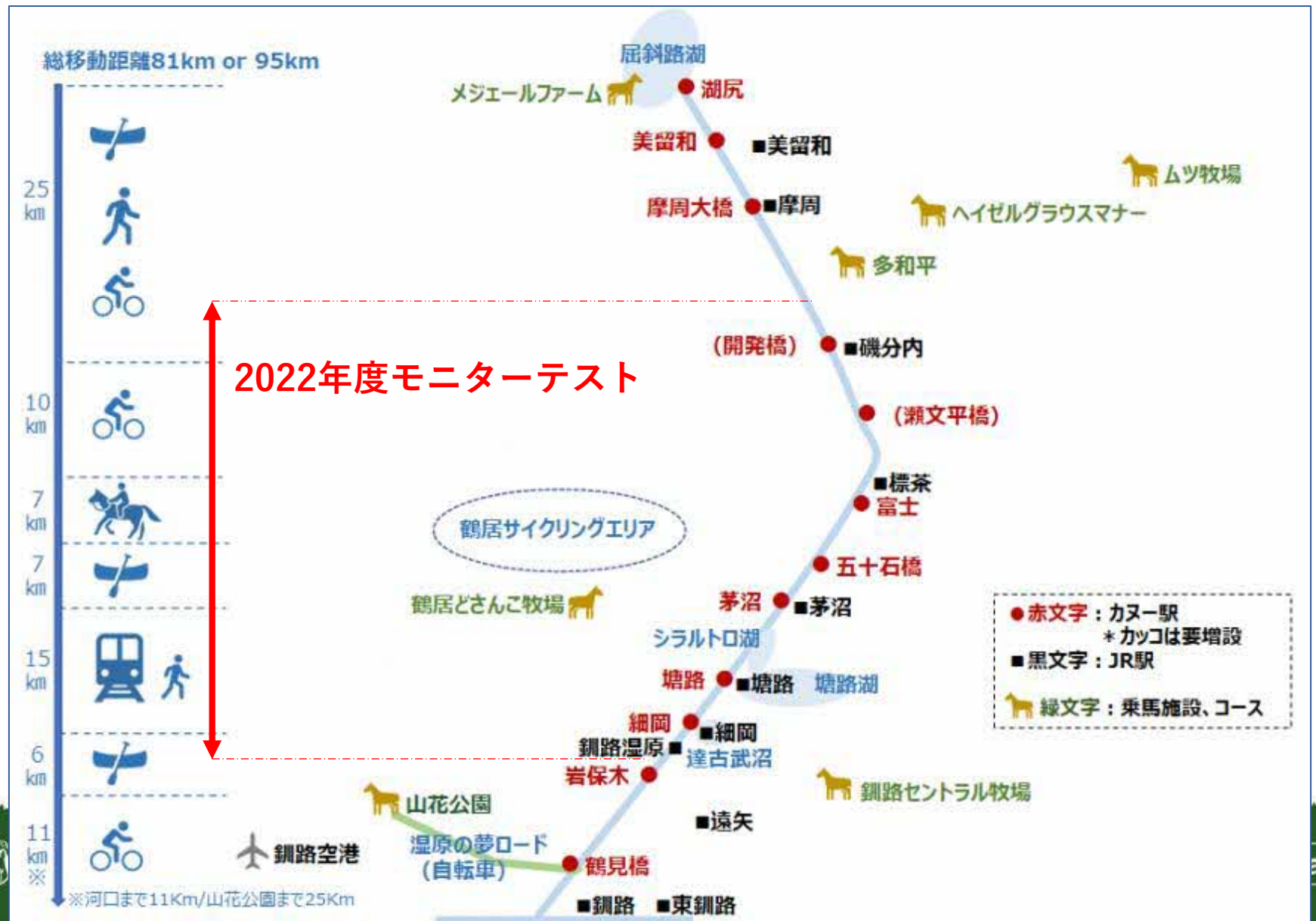


「活用、保全」：利便性、安全性を高めるため河川に手を加える 治水、利水



「対話」：河川と流域の自然環境を守り、豊かな状態に戻す、維持する 再生

(参考) ツアーのルート



3. 「かわたび×うまたびプロジェクト」の概要

② 全ツアーコースの概要

- 釧路地方釧路川流域4町村を対象範囲とし、釧路川を流れ出し（屈斜路湖尻）から河口（釧路市）まで下る約90^{キロ}のコース
（移動ルートは釧路川と堤防上管理用道路、JR釧網線、国道391号）
- 10数か所のポイント（「駅」）間を多様な手段（ツール）で移動
※ポイントは現状のカヌー駅を核とする

魅力

- 流域の動物（タンチョウ、ハクチョウ、鹿、キツネ）との出会い
- 移動アクティビティの多様な組合せ
馬、カヌー、自転車（含むeバイク）、徒歩、列車、車
電動キックボード、セグウェイ
- 流域地域の魅力あるアクティビティ
乗馬、サイクリング、カヌーツーリング、フィッシング
キャンプ、地域観光、動植物・自然観察
- 釧路川、釧路湿原ならびに流域地域の歴史を学べる
軍馬補充部川上支部、北海道集治監釧路分監等

発展性

- 活動レベルの調節が可能（距離、日程、選択する移動手段等）
- 宿泊、食事との組み合わせ
- 何度かに分けて楽しめる、何度でも楽しめる

4. 2022年度「かわたび×うまたびプロジェクト」実証実験 テストツアーの結果概要

①行程

2022年10月27日（木）～10月28日（金）

標茶町磯分内～釧路町岩保木水門 ※全行程およそ90^{キロ}の約半分

②参加者

東京都、神奈川県から4名のモニターが参加（有料ツアー）

③総括

評価されたこと

- ◎ 「移動が観光」であることの新しさと面白さ
- ◎ 乗馬（ホーストレッキング）の圧倒的な魅力
- ◎ 広域連携ツアーの価値と今後の発展性、可能性
- ◎ エコツーリズム、ワイズユースの取り組みとしての価値

解決すべき課題（2023年に向けての具体的な課題）

- ▲ トイレの常設化 ※女性観光客集客の必須要件
- ▲ 河川敷、湖沼への馬の立ち入り（乗り入れ）
→例えば塘路湖、シラルト口湖岸での乗馬やホーストレッキングが可能となれば、魅力的な観光プログラムが提供可能となる
- ▲ 地域サービス事業者の獲得 ※特に馬事サービス事業者
- ▲ 釧路川の歴史等「学びのプログラム」の強化、充実

① ツアーコースの伸化、深化

- 全流域（90キロ+鶴居村）への展開
- 2つの国立公園（阿寒摩周国立公園、釧路湿原国立公園）、1つの国定公園（厚岸霧多布昆布森国定公園）のジョイントプラン
- 移動のスイッチポイントとなる「カヌー駅」の増設、整備

② ツアープログラムの進化

- ツアー全体を通じて、釧路川（釧路湿原）の成り立ち、治水、利水の歴史、釧路地方独自の歴史（「軍馬補充部川上支部」、「北海道集治監釧路分監」等）を通じて、道東や北海道の歴史を学べる仕掛けづくりの構築
- 多様なツアーオプションの開発
 - 青空カフェ、青空レストラン
 - ホーストレッキング、ホースイベント
 - e-BIKE、セグウェイ体験イベント
など

釧路湿原（釧路川カヌーポート）における地域貢献活動

～ トイレ設置 ～

（株）北開水工コンサルタント

1.設置目的

- ・巡視担当者の大半が女性であり、巡視区域内では**トイレを利用できる施設が限られている**ことから、トイレの確保が課題であった
- ・また、巡視中にカヌー利用者等から**「細岡カヌーポートにトイレを設置して欲しい」**と要望を受けることが度々あった
- ・巡視区域でもある細岡カヌーポートはカヌーや釣り人等の利用が多いことから、**地域貢献（観光支援）として、試行的に仮設トイレを設置**し、一般の方にも開放した



細岡カヌーポート周辺の利用状況

2. 設置概要

■ 事前協議

- ・ 釧路開発建設部（治水課・河川事務所）、環境省、釧路川カヌーネットワーク等と協議を行った

■ 設置場所

- ・ 釧路川左岸KP17.0付近（細岡カヌーポート駐車場内）
※メインのカヌーコースである塘路～細岡の所要時間は約2時間



位置図



細岡カヌーポート周辺の状況

■設置期間

- ・2022年9月8日～2022年10月31日（計54日間）
※NHK釧路放送局、釧路新聞、北海道通信、北海道建設新聞の取材

■設置数

- ・男性用1台、女性用1台
※備品（トイレトーパー、ブラシ、マット、洗浄水等）



NHK釧路放送局の取材状況



男性用と女性用は離して設置（外観）



■維持管理

- ・ 利用実態を把握するため、設置当初は特別な清掃は行わず「**利用者のモラルある行動により利用いただく**」ことにした
- ・ 利用時に床が泥等で汚れた場合は、**利用者で清掃**をお願いした（備え付けのブラシと洗浄水）
- ・ 以下の維持管理は設置者で行う
 - ①**汲み取り・洗浄液補充**：月1回程度
 - ②**状態確認（破損、不法投棄、備品補充等）**：週3回程度（巡視時に実施）



ポリタンク（洗浄用）

泥除けマット

仮設トイレの利用について

以下の期間で仮設トイレを試行的に設置します

■設置期間：令和4年9月8日（木）～10月31日（月）

■設置者：（株）北開水工コンサルタント

※当社関係者も使用しますが、**一般の方も自由にご利用**下さい

※仮設トイレの設置については、釧路開発建設部 釧路河川事務所から許可申請の承認を得て実施しております

★トイレはみんなが利用します

以下のルールを守っていただき、みんなできれいに使いましょう！

- ・ 利用後、**ペダルを踏んで洗浄液を流して**下さい
- ・ 泥等で床が汚れた場合は、**備え付けの水（ポリタンク）とブラシで流して**下さい
- ・ **ゴミはお持ち帰り**下さい

※河川環境・河川利用上、好ましくないとされる状況等になった場合は、直ちにトイレを撤去することになりますので、**利用者のみなさんがルールを守ってご利用**をお願いいたします

※設置期間中、**利用実態や利用状態を確認の上、維持管理上の課題等を把握**します

【お問い合わせ先・トイレ異常時の連絡先】

（株）北開水工コンサルタント **釧路支店 0154-25-2045**（担当者：石黒又は平澤）

トイレに設置した表示板（仮設トイレの利用について）

3. 利用状況

■ 利用実態調査

- 平日（9月13日）と休日（10月1日）の計2回（9:00～16:00）利用実態調査を実施した

利用実態 調査結果	カヌー 利用者	その他 利用者	トイレ利用者			利用率
			男性用	女性用	計	
平日	113 人	15 人	18 人	13 人	31 人	24%
休日	81 人	20 人	11 人	4 人	15 人	15%

■ 設置中のトイレ利用者と利用率（推定値）

- 平日→利用者：1,085人（31人×35日）
- 休日→利用者：285人（15人×19日）
- 設置期間（54日間）
→利用者：1,370人（利用率：19.5%）



4. カヌー業者や利用者からの声

■感想

- ・特に女性や子供のトイレが問題であった。駐車場内にトイレがあり大変助かった
- ・カヌー業者や観光客等で大変ありがたく利用させてもらった
- ・マナーある利用できれいに使用することができた
- ・利用者もキレイに利用しており、特段大掛かりな清掃は必要としなかった
- ・不法投棄やトイレトペーパーの盗難等を心配していたが、そのようなことがなく良かった
- ・トイレ床の泥汚れ対策は入口付近にバケツ等の箱に水とブラシを入れておき、それを利用してもらうことも良い（清掃の手間が省ける）
- ・トイレ内の清掃や水の交換は、カヌー団体にも要請し関係者みんなで行うことが良いと思う

■要望

- ・汲み取りと洗浄液の交換頻度をもう少し短くし、臭いへの対応をお願いしたい
- ・細岡の利用は5月上旬（GW）を境に10月まで続く。来年も使用できることを期待している

5.まとめ

■維持管理

- ・懸念していた「河川環境・河川利用上、好ましくない状況（利用マナーが悪い、破損や盗難、不法投棄等）」にはならず、**利用者のモラルある利用**により、問題は発生しなかった
- ・洗浄液交換のタイミングが想定よりも早く、**トイレの臭いと便器内の汚れ**が一部発生する期間があった

■利用状況

- ・設置期間中（54日間）には、**細岡カヌーポイントの利用者が6,924人**いる中で、**トイレ利用者は1,370人**と想定以上の利用があった
- ・釧路湿原のアウトドア観光に対し、**地域貢献（観光支援）**できた



An aerial photograph of a wide river flowing through a lush, green landscape. The river is the central focus, winding through the scene. On the left bank, a paved road curves along the edge, bordered by a fence and dense trees. The surrounding area is filled with various types of trees and vegetation, creating a rich green palette. In the distance, rolling hills and a clear sky are visible. The overall scene is peaceful and scenic.

ご静聴ありがとうございました